

美しい水の生物の自分の体験

ぼくの家の近くには、布目ダムに流れる小さな川があります。その川の水は、おもに田んぼの水として使われています。この作文では、ぼくが川で見つけた生物について紹介します。ぼくが一番最初のその川で見つけたのは、サワガニとタニシです。川には、ホタルの幼虫の餌となるカワニナがいるので夏にはホタルが飛んでいて毎年見にいった元氣をもらっています。

ぼくは、一度だけその川で捕まえてもう二度と見ることができないであろうと思っただけのアカハライモリです。その捕まえたアカハライモリをぼくは、大切に大切に飼育しました。でも、あまりにも可哀想だったのでもう一度そのアカハライモリを見つけた場所に帰りました。最近には、ニッポンヨコエビやカワエビが多くとれています。

山添村立山添中学校 二年

中岡 真也

このように、今ぼくが見つけている生物の多くは、きれいな水にすんでいる生物なのでぼくは、この生物たちが暮らせるいい環境をつくりたいです。あくまでこれは個人的な意見ですが、川の生物をながめていると心がかるくなつてとても楽になります。ほかにもいろんな生物もいます。ウズムシ、別名プラナリア、カワゲラ、カゲロウ、トビゲラです。ぼくはこれからも、これらの生物を観察していきたいと思っています。

話は、変わりますが、みなさんは水の流れる音を聞いてなにを感じますか。ぼくは、とてもすずしく感じます。でも、水の流れでも、はやいときもおそいときもあるのいろいろなどらえかたができて、とても楽しいです。ぼくは、川の近くにいると別世界にいるように、気持ちが全然ちがいます。家にいると

ぐったりとした気持ちになるのですが、川の近くにいると心に乱れが無くなったような感じになります。そういう気持ちになると、時間がつことを忘れてしまわずとこの川にいたいという気持ちになります。川で遊ぶのと、庭で遊んでいるのでは、あつとうの方に楽しく元気になると思います。最近あまり行く回数が少なくなってきました、少しさみしく感じます。

前ぼくは川の上流に行ってみようと思いのぼつていったのですが、ところどころ深い所やコンクリートで固められた所、木がたおれている所、草がおいしげっている所など、いろいろと大変でした。でも、そういう場所にもいろいろな生物がいるようで細かい所までよくよく見てみると石のかげの所や木の裏のコンクリートの壁のすみなどありとあらゆる所に適おうして暮らしていました。ぼくは、それを見て少し感動しました。上流までいくと、二つに分かれていて片方はささや雑草、木などとてもいけるような感じではなかった。ので、もう一つの山にのぼつていくほうの川をたどっていきました。

すると、昔畑か田んぼがあつたらしく水のたまつた、田のようなくぼみがあつた。もう少しも段々畑のようになっていました。もう少し上にあがつていってみようと、思ったのが地面のぬかるみがあつた。すくすく足がしずんだのでそれ以上上にいくのをあきらめました。とても楽しい冒険のようになったのでとても楽しかったです。

最後に、ぼくはこの川の生物たちを見てとても大切な多くの小さな命たちをできるかぎり守りたいと思えました。